

福岡マラソン2022の大会運営における 新型コロナウイルス感染症予防対策について

1 福岡マラソン開催の前提条件

- (1) 福岡県において、緊急事態宣言が発出されておらず、移動制限や外出自粛の規制がなく、イベント開催の中止が要請されていないこと。また、新型コロナウイルス感染の拡大が予見・予想されていないこと。
- (2) 福岡市及び糸島市において、安定的に一般診療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対する医療が対応できており、緊急時の後方支援病院が確保できていること。
- (3) 運営に不可欠な人員の確保など安全に大会を開催できる十分な運営体制が整えられていること。
- (4) (1)～(3)に加え、福岡県の指標である「福岡コロナ警報」が発動された場合は、開催の可否について検討を行う。

2 対策内容

大会全般	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症対策にかかる危機管理体制の構築
大会に関わる全ての人をお願いすること	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用の徹底（レース中のランナーを除く） ・手指消毒の徹底 ・大会前後の健康管理の徹底（大会前1週間の体調管理チェックシートの提出・大会後2週間の体調管理） ・体調不良、新型コロナウイルス感染症の陽性者・濃厚接触者となった場合は参加しない ・使用したマスク等のゴミの持ち帰りの徹底 ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の利用推奨 ・新型コロナウイルスワクチン接種の推奨
エントリー関連	<ul style="list-style-type: none"> ・国内居住者にエントリーを限定
EXPO会場 スタート会場	<ul style="list-style-type: none"> ・会場入口での検温を実施 ・会場入口など会場内に消毒液を設置 ・EXPO会場はランナー専用とし、一般者は入場させない ・EXPO会場は長時間滞留しないよう呼びかけ ・飲食スペースは設置しない ・受付や参加賞渡しには、飛沫防止シートを設置 ・スタートの整列ブロックを広げ、可能な限り間隔を確保
コース上	<ul style="list-style-type: none"> ・給食で提供するものは、可能な限り個包装で提供（個包装できない場合は紙コップ等の容器に入れて提供） ・給水給食は、手渡しせず、机上で渡すことを徹底 ・給水給食所、仮設トイレなどに消毒液を設置 ・救護所は利用前に検温、発熱者は飛沫防止シート等で区切ったエリアで処置 ・ボランティア等へのスタッフには従事する業務によりフェイスシールド、使い捨て手袋等を着用 ・スタート、5.2km フィニッシュ、今宿駅、西都1丁目交差点、マラソンフィニッシュ付近を応援自粛エリアとする。それ以外の場所で応援する場合は「間隔を空ける」「声を出して応援しない」等を呼びかけ
5.2 フィニッシュ会場	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもてなし会場」はランナー専用とし、一般者は入場させない ・「おもてなし会場」の飲食ブースや休憩スペースは設置しない
フィニッシュ会場	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもてなし会場」はランナー専用とし、一般者は入場させない ・「おもてなし会場」での出店ブースの削減及び飲食スペースでの感染症対策の徹底 ・完走証をWeb発行に変更 ・完走メダルの廃止
シャトルバス 収容バス	<ul style="list-style-type: none"> ・車内は換気を良くして運行 ・乗車時の手指消毒、マスク着用、不必要な会話はしないよう呼びかけ ・乗車前は間隔を空けて並ぶよう呼びかけ ・応援者用の無料シャトルバス（糸島農業高校→フィニッシュ会場）は運行しない。

※対策内容については、感染症に関する最新情報に基づきながら随時検討を行い、内容を修正しながら、最適な対策を講じる。